

## 『オーセン將軍出沒注意』

### 【サイレンのような音と共に叫び声】

「オーセン將軍がでたぞ～。オーセン將軍がでたぞ～」『オーセン將軍出沒注意』の立看板を設置する舞鶴防衛戦隊の隊員（←今後隊員を募集していく）

### 【ナレーション】

舞鶴防衛戦隊の隊員たちは、舞鶴市民を守るため、このようにオーセン將軍があらわれた場所に、『オーセン將軍出沒注意』（北海道のヒグマのようなプレート  
のイメージ）オーセン將軍を警戒し、立看板を設置して、市民らに注意を喚起している

舞鶴湾を汚すことを生き甲斐とし暗躍するオーセン將軍率いるショッカー軍団。彼らの悪の力は日に日に増大し、旬工房、志楽幼稚園をはじめとし、いまや海陸を問わず、舞鶴のあらゆるところに出沒し市民は困り果てているのだ。

もちろん舞鶴防衛戦隊チャットマンが、その度毎に出動し撃退しているのだが、しぶとく執念深いオーセン將軍の息の根までは止められず、手をこまねているのである。

### （会場）

オーセン將軍がショッカーと共に登場

オーセン將軍

「ファハハハハ。おまえたち！喜べ！おおいに喜べ！わしは、あの憎っつくきチャットマンを打ちのめす方法を思いついたぞ」

ショッカー全員小躍りしながら

「イー。イー。イー・・・」

「静まれ！おまえたちこういう言葉を知っているか？『上兵は謀（はかりごと）を伐（う）ち、次は交を伐（う）ち、そして最後に兵を伐（う）つ』【※ 孫子の謀攻編の変形】

「イー」（判らずあわてふためくショッカーたち）

「静まれというのがわからんのか。要はだな。相手をだまして闘わずして勝つ。それが勝負事の極意なのだ」

「イー！」（なんだか勝てそうな気持ちになって喜ぶショッカーたち）

「ファハハハハ。よく聴くんだ。おまえたち。わしはいまからチャットマンをだます。そして仲間割れをさせるのだ。その方法はだな・・・」

オーセン將軍がショッカーを呼び寄せ、円陣を組みひそひそ話をはじめる。

「わかったか！おまえたち！！」

「イー」

「ようし。わかったら早速作戦開始！」

「イー」

(オーセン將軍と1人のショッカーが退場。残りのショッカーは観客席に行き会場のみんなに噂話を吹聴しに行く)

オーセン將軍のショッカーへの指令

会場の人に悪口を伝え、聴いてくるので大きな声で答えるように

悪口の内容①：赤レンガレッドが「しだれ桜ピンク」のことを「かまぼこピンク」といってる

悪口の内容②：舞鶴湾ブルーが「肉じゃがイエロー」のことを「おでんイエロー」といってる

しばらくして謎のMC(にせ司会者)登場(よい司会者のような振る舞い)

(でもなぜかインナーがショッカーの服) ←実はオーセン將軍と一緒に退場したショッカー

きっとチャットマンの誰かが、何か質問するので大声で答えて欲しいとお願いする。

わかりましたね。では、みなさんお待たせしました。間もなくチャットマンの登場で〜す。

(チャットマンたちが音楽とともに会場に現れポーズをとる)

チャットブルー

「海の幸、自然の恵みを守る舞鶴湾ブルー」

チャットレッド

「舞鶴を愛する心は誰よりも熱い、赤レンガレッド」

チャットピンク

「舞鶴の美しいものを愛する、しだれ桜ピンク」

チャットイエロー

「肉じゃがの発祥地はなんといってもこの舞鶴よ。肉じゃがイエロー」

一斉に

「舞鶴の防衛戦隊、チャットマン」

チャットブルー

「うん、決まったね」

チャットレッド

「俺たちのチームワーク。どんどんよくなってるな」

チャットイエロー

「あら、そうかしら？」

チャッタブルー

「どうしたんだ？イエロー。今日はご機嫌斜めか？」

チャッタイエロー

「ブルー！よくも白々しくとぼけてられるわね」

チャッタブルー

「はあ？」

チャッタピンク

「そうよ。誠実そうに見せかけて。あんたのおなかは、きっとオーセン將軍なんかよりずっと汚くどす黒いんだわ」

チャッタブルー

「そう、僕のおなかはババ色で・・・っておい？なんていい草だ」

チャッタレッド

「おい、やめろよ。みんな」

チャッタピンク

「あんたも同罪よ。レッド」

チャッタイエロー

「そうよそうよ。リーダーぶって、舞鶴を愛する心なんて真っ赤な嘘」

チャッタレッド

「いっていいことと悪いことがあるぞ！イエロー！」

チャッタピンク

「わたしたちのことを巷でどんなふうに言っているかちゃんと知ってるんだから。会場の人々も知ってるわよね？」

チャッタブルー

「面白い。じゃあ会場の皆さんに存分にきいてみろ」

チャッタイエロー

「いいわ。舞鶴湾ブルーは「肉じゃがイエロー」のことをなんてよんでいるのか知ってる？」

会場の声

「おでんイエロー」

チャッタイエロー（ほらみなさいよのジェスチャー）

チャッタブルー・チャッタレッド（なんてこったい？というポーズ）

チャッタピンク

「赤レンガレッドが「しだれ桜ピンク」のことをなんていってるか知ってる？」

会場の声

「かまぼこピンク」

あわてるチャッタブルー・チャッタレッド

チャッタピンク

「みなさい。みんな知ってるじゃないの？しかも何？かまぼこですって？確かに舞鶴のかまぼこはおいしいけど。私はそんな食いしん坊みないな名前はいやよ」

チャッタイエロー

「ちょっとなによ。食いしん坊って。わたしはもともと食べ物の名前よ。私が食いしん坊だっていうの？」

チャッタマン全員 收拾がつかず、もめながら退場。

謎の MC とオーセン將軍再び登場。

みたかショッカー（謎の MC のこと）

「イー」←謎の MC の返事

まんまと『人の噂を利用した人間関係崩壊作戦』が功を奏したようだ。

チャッタマンといえど所詮は人の子。

あんなチームワークが乱れたチャッタマンなど恐れるに足らぬわ。

（ここでショッカーたちがこぞってあつまってくる）

お前たちチャッタマンをここにおびき寄せろ。いまこそ、いまこそリベンジだ。」

ショッカーを追いかけるように再びチャッタマン登場

（戦闘シーン）

だが、いつもと違いごちない動き。会話もなく精彩に欠く4人組。

そして次々にショッカーたちにやられていく。

とらわれたチャッタレッド。とどめをさそうとするオーセン將軍。手を差し伸べない残り3人。

そこに突如天からの声

「聳えて五老、流れては伊佐津川瀬の麗しや」←余内小の校歌（短歌を詠むように）

今回の真打チャッタグリーン登場！

オーセン將軍

「誰だ。」

チャッタグリーン

「私ですか？わたしはそんな名乗るほどでも・・・

でも、（声高に）強いて（普通に返して）いうなら、舞鶴の水、風、空気、そし

てこよなく人を愛す風流人、人呼んで五老ヶ岳グリーン」

オーセン將軍

「おまえもチャットマンの一味なのか。」

チャッタグリーン

「さあ。それはどうでしょう？でも、（声高に）強いて（普通に戻して）いうなら、人呼んでチャッタグリーン。」

（ずっとこけそうになるショッカー一同）

チャッタグリーン（4人のチャットマンに向かって）

みなさん。謀（はかりごと）に屈してはなりませんぞ。噂はすべてオーセン將軍の流したデマカセ。」

びっくりし、あわてるチャットマンたち

そこできっぱり言い切るチャッタグリーン

「本当です。わたしは五老ヶ岳のパノラマ展望台。舞鶴の出来事なら西も東も見渡せます」

オーセン將軍

「よくも。ばらしおったな。こうなったら・・・おまえたちチャッタグリーンもろともやつつけてしまえ」

ショッカーたち

「イー」

今度は、団結して戦うチャットマン。（それぞれの得意技）

そしてあっという間に一網打尽。逃げ去るオーセン將軍とショッカーたち。

（平和が戻り）

チャッタレッド

「ありがとう。五老ヶ岳グリーン。危うく大事なものを失うところだった」

チャッタグリーン

「とんでもございません。でも強いて言うなら、どういたしまして」

チャッタピンク

「ごめんね。レッド。疑ったりして」

チャッタイエロー

「私もごめんなさい。ブルー。それからピンク。ごめんね私食いしん坊で」

チャッタピンク

「だから、ごめんって。根に持たないでよ。イエロー」

チャッタグリーン

「会場の皆さんも、人の噂ばかり信じてはいけませんよ。大事なのは（ハートを抑えながら）ここなのです」

チャットマン全員  
会場に手を振る。  
エンディングの歌。

おしまい

※ 舞鶴で活躍するチャットマンをモチーフに書いたものですが実際のチャットマンとは関係ありません